

平成 30 年 2 月 19 日

報道機関各位

「G-Census プレゼンテーション資料作成コンテスト」における受賞について
～「東北圏におけるふるさと納税を用いた地域活性化の可能性」が最優秀賞を受賞～

データ分析のプレゼンテーション力を競う「G-Census プレゼンテーション資料作成コンテスト」（主催：公益財団法人 統計情報研究開発センター）において、当センター職員の作品が、最優秀賞を受賞いたしましたのでお知らせします。

同コンテストは地理情報システムと統計情報の一体的利用について普及を促進するため、2014 年度より毎年開催されているものです。

今回受賞した作品は、東北圏におけるふるさと納税の現状について G-Census を用いてわかりやすく整理したほか、とかく寄附金額の多寡や返礼品などに関心が集まりがちな「ふるさと納税」を地域活性化のシーズと捉え、プロセスごとの活用の可能性などについて実地調査を含めてまとめたもので、統計データを用いて「ふるさと納税」の現状と意義を説明するなど、「ふるさと納税」について丁寧にわかりやすく説明されている点が高く評価されました。

なお、本作品は来月刊行予定の「2017 年度東北圏社会経済白書」の内容をもとに作成されており、当該内容を含む今年度の当センターの研究成果につきましては、4 月 23 日（月）14 時より仙台市内において説明会を開催することといたしております。

当センターでは、今回の受賞を励みとして、今後とも地域の皆様と連携・協働しながら実践に直結したシンクタンクとして積極的に取り組んでまいります。

以 上

【添付資料】

G-Censusプレゼンテーション資料作成コンテストならびに受賞作品の概要などについて

【お問い合わせ先】

公益財団法人東北活性化研究センター 調査研究部 木村
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2 丁目 9-10 セントレ東北9階
TEL 022-222-3394 FAX 022-222-3395
E-mail m-kimura@kasseiken.jp

【別紙】

G-Censusプレゼンテーション資料作成コンテストの概要

(1) 主催：公益財団法人統計情報研究開発センター（Sinfonica）

URL：http://www.sinfonica.or.jp/

統計の活用に関する調査研究や統計情報の普及啓発事業等を行っており、各種セミナーの開催、「統計グラフ全国コンクール」等を主催している。

(2) 趣旨等

- 地理情報システムと統計情報の一体的利用について普及を促進するため実施されているもので、G-Censusなどを用いて、地域の現状を明らかにするとともに、各地域の課題解決等に向けたプレゼンテーション内容を競うもの。
- 2014年度より開始され、今回で4回目の開催

※G-Census（ジーセンサス）とは（開発：公益財団法人統計情報研究開発センター）

- 統計情報を地図上で表現できるGISソフトで、国勢調査などをはじめとした基本的な統計データを収録し、都道府県や市区町村別等の統計情報を基にした統計地図（色分け地図）の作成や、人口ピラミッドなどを簡単に地図上に表示することができる。
- 全国の教育機関などに寄贈されており、統計教育用ツールとして活用されている。
- G-Censusのホームページ（http://www.g-census.jp/）

受賞作品について

(1) 受賞作品：

「東北圏におけるふるさと納税を用いた地域活性化の可能性」

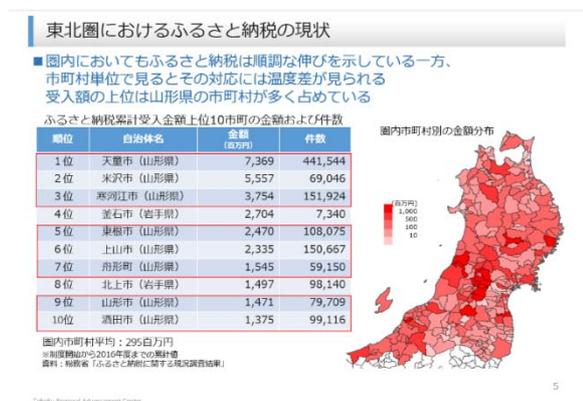
- 圏内のふるさと納税の現状について、自治体別に塗り分けた地図を用いて分析するとともに、地域活性化の可能性について事例を踏まえてプレゼンテーション資料形式でまとめたもの。

(2) 作成者：

調査研究部 主任研究員

木村 政希

<受賞作品の一部>



平成29年度調査研究報告会について（後日改めてご案内させていただきます）

- 開催日時 平成30年4月23日（月） 14時～
- 場 所 セントレ東北8階 会議室
仙台市青葉区中央2-9-10
- 内 容 「平成29年度東北圏社会経済白書」をはじめとする当センターの平成29年度調査研究事業の内容について